

電気配線工事説明書

PSB012D998A

電気配線工事は電気設備技術基準及び内線規程に従い、電力会社の認定工事店で行ってください。

安全上のご注意

- 作業前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく作業してください。

安全のため必ずお守りください。

- 誤った作業、行為をしたときに生じる危害や損害を「△警告」と「△注意」に区分し、お守りいただく内容を「図記号」を使用し説明していますので、必ずお守りください。
- 「△警告」「△注意」の意味

△警告	守らないと、死亡または重大な障害にいたる危険性がある事項について説明しています。
△注意	守らないと、傷害や物的損害ある事項について説明しています。

- ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。Ⓢ 絶対に行わない Ⓡ 必ず指示に従い行う
- 下記のことを必ず守ってください。守らないときは、感電による火災、感電又は過熱、ショートによる火災のおそれがあります。

△警告

- 電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。
- 室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。
カバーの取付けが不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災や感電の原因になります。
- 別売品は、必ず当社指定の部品を使用する。また、取付けは専門業者に依頼する。
ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。
- 改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。
修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
- エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。
据付けに不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
- 室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。
点検・修理にあたって、電源ブレーカが ON のままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。
- 元電源を切った後に電気工事をする。
感電、故障や動作不良の原因になります。

△注意

- アース（接地）を確実に行う。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。
- 電源には必ず漏電遮断器（高調波対応品）を取付ける。
漏電遮断器が取付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。
- 正しい容量の全極遮断するブレーカ（漏電遮断器・手元開閉器（開閉器＋B 種ヒューズ）・配線遮断器）を使用する。
不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。
- 正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。
- 電源配線は、電流容量に合った規格品の配線を使用する。
漏電や発熱・火災などの原因になることがあります。
- 室内外接続用端子台および電源用端子台に単線とより線を併用しない。
また、異なったサイズの単線またはより線を併用しない。
端子台のねじゆるみや接触不良が生じ、発煙・発火の原因になることがあります。
- 運転停止後、すぐに電源を切らない。
必ず 5 分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。
- 電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。

制御の切換

- 室内ユニットの制御内容を下記方法にて切換可能です。（□ は工場出荷時の設定）

スイッチNo.	制御内容
SW1	室内アドレス(10位)
SW2	室外アドレス(10位)
SW3	室内アドレス(10位)
SW4	室外アドレス(10位)
SW5-1	ON 1 旧SL通信仕様固定 OFF 断線/旧SL通信仕様自動判別
SW5-2	室内アドレス(100位)
SW6-1～4	機種容量
SW7-1	ON 運転チェックドレンポンプ運転監視 OFF 通常運転

注 1：通信方式であるスーパーリンクの仕様が選択できます。
旧 SL：ビル空調 2LX シリーズ、ガスヒートポンプ M7 シリーズ以前
新 SL：ビル空調 3LX シリーズ、ガスヒートポンプ M8 シリーズ以降
SW5-1 が OFF（工場出荷設定）の場合は、通信仕様（新 SL/ 旧 SL）を自動判別します。
旧 SL 通信仕様固定で使用する場合は、SW5-1 を ON にしてください。
各通信仕様の特徴、制限は室外ユニットに付属の据付説明書をご覧ください。

③リモコンの取付け（別売部品）

- 次の位置へ取付けないでください。

- 直射日光の当たる所
- 発熱器具に近い所
- 湿気の多い所、水が飛散する所
- 取付面が発熱・結露する所
- 油の飛沫や蒸気が直接触れる所
- 取付面の凹凸がある所

リモコン取付・配線

- ①リモコンの取付けは、リモコン付属の説明書に従ってください。
- ②リモコン線は、0.3mm²×2心の電線またはケーブルを使用してください。配線の被覆は1mm以上のものを使用してください。（現地手配）
- ③リモコン線の総延長は600mです。
延長距離が100mを超える場合は、下記サイズに変更してください。但し、リモコンケース内を通る配線は最大0.5mm²以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズを変更してください。
100～200m以内・・・0.5mm²×2心
300m以内・・・0.75mm²×2心
400m以内・・・1.25mm²×2心
600m以内・・・2.0mm²×2心

- ④誤動作する場合がありますので、多芯ケーブルの使用は避けてください。

- ⑤リモコン線はアース（建物の鉄骨部分または金属など）からできるだけ離してください。

- ⑥リモコン線は確実にリモコンと室内ユニットの端子台に接続してください。（極性はありません）

1 リモコンによる複数台室内ユニット制御

- ①1つのリモコンで複数台のユニット（最大16台）をグループ制御できます。
同一モード、同一室温設定で運転します。
- ②グループ制御用に各室内ユニット間を2心のリモコン線にて渡り配線してください。
- ③室内・室外No.を手動アドレス設定にてセットしてください。
 - 室内ユニット基板上のロータリースイッチSW1、SW2及びディップスイッチSW5-2により、室内No.を重複しないように設定してください。

- ④右図のように室外ユニットが複数台の場合でもリモコン複数台制御可能です。

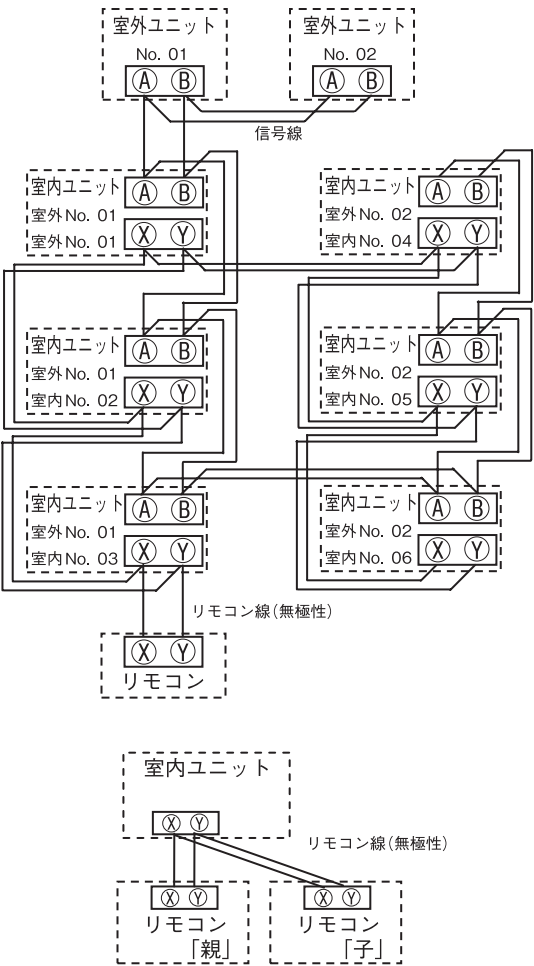
複数リモコン使用時の親子設定

室内1台（又は1グループ）に対して、最大2個までリモコンを接続できます。後操作優先で運転します。

ワイヤードリモコン2台、あるいはワイヤードリモコン＋ワイヤレスキット、あるいはワイヤレスキット2台のいずれかの組合せができます。

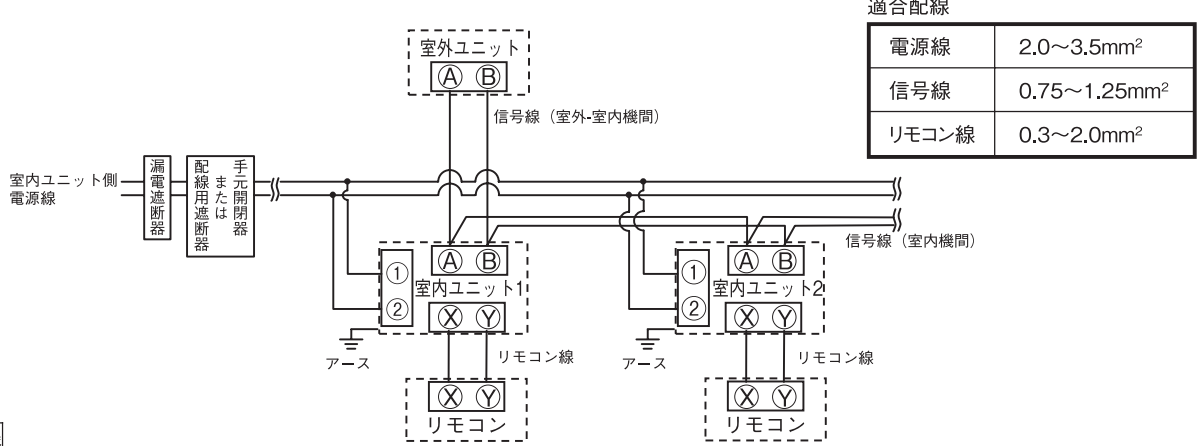
- 1個を「親」に、残りを「子」に設定してください。

- 注意 リモコンセンサ有効設定は親リモコンのみ可能です。親リモコンを室温検知させる位置に取付けてください。



①電源・室内外配線の接続

- 電気工事は電力会社の認定工事店で行ってください。本配線仕様は、下記に基づいて決定しています。
 - ①配線は銅線以外のものを使用しないでください。
 - ②電源は、室外ユニット・室内ユニット各々別電源としてください。
 - ③電気ヒータ（別売品）はなしにて記載してあります。
注：電気ヒータを組込む場合は、電源仕様・配線仕様および配線本数が異なりますので、ご注意ください。
 - ④同一系統内の室内ユニット電源は、必ず全て同時ON、同時OFFになるようにしてください。
- 配線の接続はねじの緩みがないように確実に行ってください。
- 電源は工事が完了するまで入れないでください。
- 専用の分岐回路を用い、他の機器と併用しないでください。併用した場合、電源ブレーカ落ちによる2次災害が生じる恐れがあります。
- 機器毎に設定された過電流及び漏電遮断器（感度電流30mA）を設置してください。
- D種接地工事を必ず行ってください。
- 信号線を途中接続する場合には、絶対に水が浸入しないような処置を行ってください。
- 天井裏内の配線（電源・リモコン・室内外接続線）はネズミ等により、かじられ切断することもありますので、なるべく鉄管等の保護管内に通してください。
- 室内ユニットに接続する電源線は3.5mm²まで使用可能です。5.5mm²以上の配線を使用する場合は、専用のプルボックスを使用し、室内ユニットへ分岐してください。
- 信号線と電源線の接続を間違えますと全ての基板が焼損する場合があります、ご注意ください。
 - ①A-B信号線に誤って200V電源を接続しても初めの1回は保護します。
 - ②電源投入15分経過後リモコンからユニットNo.(アドレス)を確認できない場合は、全ての信号線を確認して誤接続を修復してください。
 - ③焼損基板のジャンパー線J10SL1を切り、コネクタCnK（黄）CnK1（白）をCnK2（黒）に差し替える。
 - ④A-B端子台から基板までの配線に異常があれば交換してください。
- ユニットの外部では、リモコン線と電源線が直接接触しないように施工してください。
- 信号・リモコン用端子台に200V電源を絶対に接続しないでください。故障の原因となります。
- ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続
 - ①ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続は、制御箱内の電源側端子台、信号側端子台に番号を合わせて接続してください。また、アース線は、電源側端子台アース端子に接続してください。
 - ②電源には必ず漏電遮断器を取付けてください。漏電遮断器は、インバータ回路用遮断器（三菱電機製NVCシリーズまたは、その同等品）を選定してください。
 - ③漏電遮断器が地絡保護専用の場合には、漏電遮断器と直列に手元開閉器（開閉器＋B種ヒューズ）または、配線用遮断器が必要となります。
 - ④手元開閉器はユニットの近傍に設置ください。
- 補助電気ヒータ組込の場合は、電気ヒータ組込時の説明書・または技術資料で確認すること。



電源仕様

①室内機電源仕様(②～④以外の機種)									
機種容量	漏電遮断器定格	開閉器容量	ヒューズ	電源線太さ	配線こう長	信号線	リモコン線	アース線	
22-36形	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm ² ×2	298m	0.75～1.25mm ² ×2	0.3mm ² ×2心	2.0mm ²	
45-56形					275m				
71-90形					179m				
112-280形					123m				
②高静圧ダクト、給気処理ユニット、加温器付外気処理ユニット									
45-90形	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm ² ×2	149m	0.75～1.25mm ² ×2	0.3mm ² ×2心	2.0mm ²	
112-140形					85m				
224-280形					28m				
224-280形									
③床置形システムパッケージ									
112形	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm ² ×2	51m	0.75～1.25mm ² ×2	0.3mm ² ×2心	2.0mm ²	
140,160形					34m				
224,280形					32m				
224,280形									
④全熱交換器付外気処理ユニット									
750, 1000形	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm ² ×2	48m	0.75～1.25mm ² ×2	0.3mm ² ×2心	2.0mm ²	

注 1. 配線こう長は、電圧降下2%とした場合を示します。上記の配線こう長を越える場合は、内線規程に従い、配線太さを見直してください。

注 2. リモコン線の延長距離が100mを越える場合は、③リモコンの取付けに従い、配線太さを見直してください。

冷暖フリーマルチの場合

分流コントローラの配線

- 本ユニットを冷暖フリーマルチとして使用する場合は分流コントローラ（別売品）に付属の据付説明書をご覧ください。

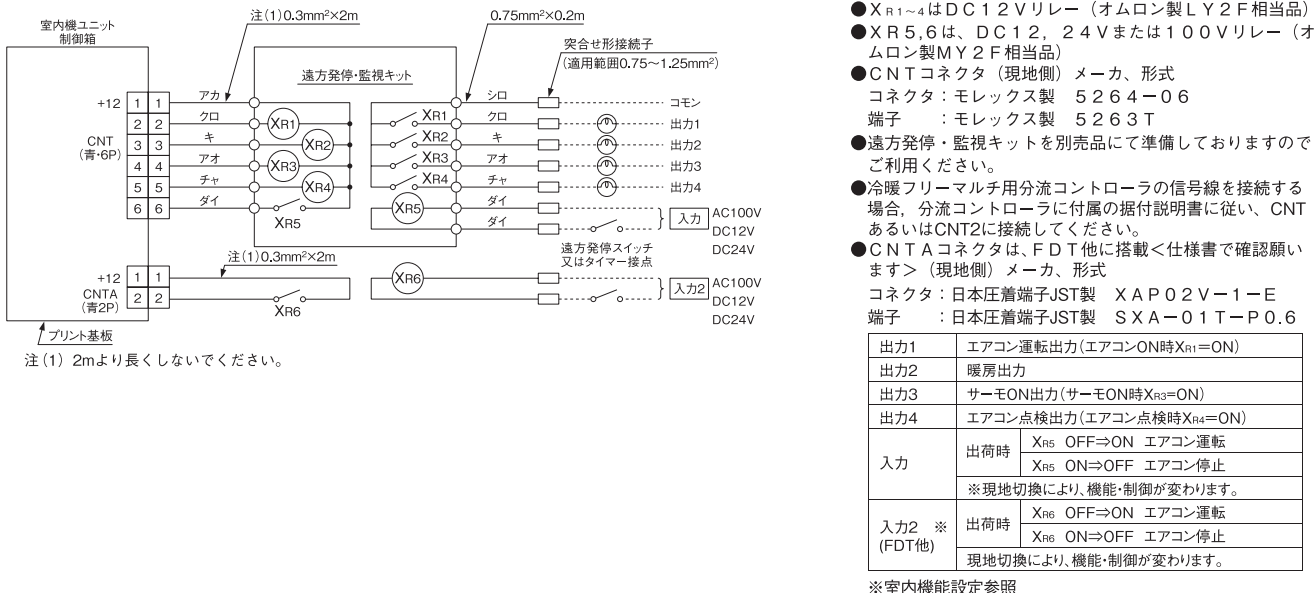
②アドレス設定

アドレス設定は、（1）手動アドレス設定、（2）自動アドレス設定の2方法ができます。
自動アドレス設定の場合、アドレス設定後、ワイヤードリモコンからアドレスの変更が可能です。
設定方法は、室外ユニットに付属の説明書をご覧ください。

③リモコンからの操作・確認方法

マルチ	ecoタッチリモコンから操作	ドット表示リモコンから操作
1 リモコン系統内の接続ユニットの接続台数を確認します。 [メニュー]⇒[次頁]⇒[サービス・メンテナンス]⇒[パスワード]⇒[エアコンNo.表示]		エアコンNo.ボタンを押すと室内アドレスが表示されますので、▲▼ボタンで接続されている室内アドレスを1台ずつ確認してください。
2 リモコン系統内の接続ユニットの接続を個別に確認します。 停止中、[メニュー]⇒[次頁]⇒[サービス・メンテナンス]⇒[パスワード]⇒[エアコンNo.表示]⇒[個別送風運転]		停止中、エアコンNo.ボタンを押すと室内アドレスが表示されますので、▲▼ボタンで接続されている室内アドレスを1台選択⇒[運転切換]を押すと送風運転します。
3 親子リモコン設定 [メニュー]⇒[次頁]⇒[リモコン設定]⇒[パスワード]⇒[リモコン親子設定]		子リモコンの切換えスイッチ（SW1）を「子」に設定してください
4 運転データの確認方法 [メニュー]⇒[次頁]⇒[サービス・メンテナンス]⇒[パスワード]⇒[運転データ表示]		[点検]⇒運転データ表示▼⇒[セット]⇒データ確認中⇒室内機選択⇒▲▼ボタンで接続されている室内アドレスを1台選択⇒[セット]⇒データ確認中⇒▲▼データ選択
5 点検表示の確認方法 [メニュー]⇒[次頁]⇒[サービス・メンテナンス]⇒[パスワード]⇒[点検表示]		[点検]⇒運転データ表示▼⇒[▼]⇒エラーデータ表示▲⇒[セット]⇒データ確認中⇒データ表示
6 リモコンからの冷房試運転方法 [メニュー]⇒[次頁]⇒[据付設定]⇒[パスワード]⇒[試運転]⇒[冷房試運転]⇒[開始]		①[運転/停止]を押して、運転します。 ②[運転切換]により、「冷房」を選択します。 ③[試運転]を3秒以上押しします。表示が、「冷房試運転▼」となります。 ④「冷房試運転▼」の表示で、[セット]ボタンを押すと、冷房試運転を開始します。表示は、「冷房試運転」となります。
7 リモコンからのドレンポンプ試運転方法 [メニュー]⇒[次頁]⇒[据付設定]⇒[パスワード]⇒[試運転]⇒[ドレンポンプ試運転]⇒[運転]		①[試運転]を3秒以上押しします。表示が「冷房試運転▼」となります。 ②[▼]を一度押し、「ドレンポンプ運転」を表示させます。 ③[セット]を押すと、ドレンポンプ運転を開始します。表示：「セットで停止」

④室内基板CNTコネクタの機能



- Xn1～4はDC12Vリレー（オムロン製LY2F相当品）
- XR5,6は、DC12.24Vまたは100Vリレー（オムロン製MY2F相当品）
- CNTコネクタ（現地側）メーカ、形式
コネクタ：モレックス製 5264-06
端子：モレックス製 5263-T
- 遠方送風・監視キットを別売品にて準備しておりますのでご利用ください。
- 冷暖フリーマルチ用分流コントローラの信号線を接続する場合、分流コントローラに付属の据付説明書に従い、CNTあるいはCNT2に接続してください。
- CNT Aコネクタは、FDT他に搭載可仕様で確認願います>（現地側）メーカ、形式
コネクタ：日本圧着端子JST製 XAP02V1-E
端子：日本圧着端子JST製 SXA-011T-P0.6

出力1	エアコン運転出力(エアコンON時Xn1=ON)
出力2	暖房出力
出力3	サーモON出力(サーモON時Xn3=ON)
出力4	エアコン点検出力(エアコン点検時Xn4=ON)
入力	出荷時 Xn5 OFF⇒ON エアコン運転 Xn5 ON⇒OFF エアコン停止 ※現地切換により、機能・制御が変わります。
入力2 ※	出荷時 Xn6 OFF⇒ON エアコン運転 Xn6 ON⇒OFF エアコン停止 ※現地切換により、機能・制御が変わります。

※室内機能設定参照

⑤リモコンからの操作・設定

- A：ecoタッチリモコン付属の取扱説明書を参照してください。
B：ecoタッチリモコン付属の据付工事説明書を参照してください。
C：インターネットよりユーティリティソフトを配信中です。
○：ecoタッチリモコンと、ほぼ同等の機能設定・操作が可能です。
△：ecoタッチリモコンと、類似的機能設定・操作が可能です。
※1 RC-DX1、RC-DX1Gには、この機能はありません。

設定および表示項目	詳細内容	eco タッチ	ドット リモコン
1.リモコンネットワーク			
1 複数室内機制御	リモコン1台(リモコンネットワーク内)に最大16台室内機を接続 制御できます。 室内機側にアドレス設定します。		○
2 親子リモコン設定	リモコンネットワーク内に2個のリモコン(含むワイヤレスオプション)を接続でき ます。片側を「親」とし、片側を「子」として設定します。	B	○
2.TOP画面・SW操作			
1 メニュー	制御・設定・詳細確認等の項目を選択します。3～20項	A	
2 運転モード	冷房・暖房・送風・自動・除湿を設定します。	A	○
3 設定温度	室温を0.5℃単位で設定します。	A	○
4 風向	風向を設定します。 4位置／フリー	A	○
5 風量	風量を設定します。	A	○
6 タイマー設定	タイマー運転を設定します。	A	○
7 運転／停止SW	運転開始します。／停止します。	A	○
8 ハイパワーSW	ハイパワー運転を開始します。	A	
9 省エネSW	省エネ設定で運転を開始します。	A	
3.省エネ設定			
1 切忘れ防止タイマー	運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ●設定時間は30～240分(10分単位)まで選択可能です。 ●設定「有効」の場合、毎回、タイマーが作動します。	A	△
2 ピークカットタイマー	最大能力を制限することで消費電力を削減します。 制御の開始時刻と終了時刻、能力制限率を設定します。 ●1日最大4パターンまで設定可能です。 ●設定時刻は5分単位で設定可能です。 ●能力制限率は0・40～80%(20%単位)から選択可能です。 ●休日設定により、無効設定も可能です。	A	
3 設定温度自動復帰	設定時間後に設定した温度に戻ります。 ●暖房モード／冷房モード他 各々設定可能です。 ●設定時間は20～120分まで選択可能です。 ●設定時間は10分単位で設定可能です。	A	△
4.グリル昇降			
1 ラクリーナパネル制御 ラクリーナパネル組合せの場合	ラクリーナパネル グリルの昇降操作をします。 [メニュー]⇒[据付設定]⇒[グリル昇降操作]の設定が必要です。	A	○
2 降下長設定	グリル昇降長さを設定します。 ●0.1～4.0mの範囲で設定できます。 ●設定長さは0.1m単位で設定可能です。 ●接続室内ユニット毎に設定できます。	A	○
3 ダスト回収リセット お掃除パネル組合せの場合	ダスト回収後にダスト回収タイマーをリセットします。 ●回収日を日付設定している場合は次回設定ができます。	A	
5.フリーフロ―設定			
フリーフロ―設定	各吹出口のルーバの作動範囲(上限位置・下限位置)を 設定します。	A	○
6.換気			
1 換気 換気機器を組合せの場合	換気のON/OFF操作を行います。 [メニュー]⇒[リモコン設定]⇒[換気設定] の設定が必要です。 ●換気設定を「単独操作」に設定した場合、換気機器の運転/停止ができます。	A	○

5

6

設定および表示項目	詳細内容	eco タッチ	ドット リモコン
14. 管理者設定	管理者パスワード		
1 操作制限設定	●操作の許可/禁止を設定します。 〔運転/停止〕〔設定温度切換〕〔運転モード切換〕〔風向切換〕 〔風量切換〕〔ハイパワー運転〕〔省エネ運転〕〔見てみて〕〔タイマー設定〕 ●操作時の管理者パスワード要求を設定します。 〔フリーフロ―設定〕〔グリル自動昇降〕〔ウィークリータイマー設定〕〔言語切換設定※1〕	A	△
2 室外静音タイマー	静音性を優先して運転する時間帯を設定します。 ●静音運転開始時刻と終了時刻を設定可能です。 ●設定時刻は1日1回、5分単位で設定可能です。	A	△
3 設定温度の範囲設定	設定温度範囲を制限します。 ●運転モードによる温度範囲の制限が可能です。	A	△
4 設定温度刻み切換	設定温度の刻み(0.5℃/1.0℃)を設定します。	A	
5 設定温度表示切換※1	設定温度の表示の仕方を切り換えます。	A	
6 リモコン表示設定	リモコン名称、室内ユニット名称を登録します。 室温表示のあり/なしを設定します。 (点検コード表示)(暖房準備表示)(除霜運転中表示) (自動冷暖表示)(リモコン・室温・外温表示※1)のあり/なしを設定します。	A	○ △
7 管理者パスワード変更	管理者パスワードの変更を行います。 管理者パスワードのリセットを行います。	A B	
15. 言語切換※1	リモコンに表示する言語を選択します。 ●日本語 / English の選択が可能です。	A	
16. 据付設定	サービスパスワード		
1 据付日登録	据付日を登録した場合、点検日表示を行います。	B	
2 サービス情報入力	リモコンに連絡先を登録することができます。 ●連絡先名を半角26文字相当※1以内で登録できます。 ●連絡先TEL番号を13文字以内で登録できます。	B	
3 試運転	試運転の開始／停止を制御できます。 冷房試運転 設定5℃ 30分間運転します。		○
ドレンポンプ試運転	ドレンポンプのみ運転します。	B	○
お掃除試運転	フィルター清掃 プラン清掃運転します。 お掃除パネル組合せの場合		
周波数固定運転	インバーターコンプレッサの運転Hzを固定します。		○
4 グリル昇降操作設定	ラクリーナパネル操作を有効に設定します。 ラクリーナパネル組合せの場合	B	○
5 ダクト機静圧補正※1	機外静圧補正機能付ダクト形室内ユニット組合せの場合に操作できます。 ●接続室内ユニット毎に個別に設定できます。	B	
6 自動アドレス変更	個別発停マルチシリーズ自動アドレス番号を変更することができます。	B	△
7 親室内機アドレス設定	個別発停マルチシリーズ 設定された親ユニットのみ運転モード変更を許可し、 親を設定したユニットは親ユニットから送られた運転モードに従って運転します。	B	△
17. リモコン機能設定	サービスパスワード		
1 リモコン親子設定	リモコン親子設定の変更ができます。	B	○
2 吸込センサー制御※1	1台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に用いる 吸込温度センサーを選択できます。 ●個別 / 親機 / 平均の選択が可能です。	B	
3 リモコンセンサー	リモコンセンサーに切り替えるモードを設定できます。 冷房 / 暖房で切換可能です。	B	△
4 リモコンセンサー補正	リモコンセンサー検知温度を補正できます。冷房 / 暖房 別々に補正可能	B	△
5 運転モード選択	各運転モード毎に有効 / 無効を設定できます。	B	△
6 温度単位設定※1	設定温度の単位を設定します。 ●℃ / °F の選択が可能です。	B	
7 ファン速度	ファン速度選択が可能です。	B	○
8 外部入力設定	1つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、CnT入力の適用範囲が設 定されます。	B	○
9 換気設定	換気ユニット組合せ制御が設定できます。	B	○
10 ルーバ制御	[4位置停止] / [フリー停止] の切換ができます。	B	○
11 停電補償	停電復帰した場合の制御内容を設定できます。	B	○
12 設定温度自動設定	設定温度自動の有効 / 無効を選択できます。	B	
13 風量自動設定	風量自動の有効 / 無効を選択できます。	B	

7

設定および表示項目	詳細内容	eco タッチ	ドット リモコン
7.見てみて			
見てみて	室内温度、室外温度、運転時間、消費電力量を表示します。 ●室内ユニット・室外ユニットの組合せによって表示できない場合があります。	A	
8.お掃除パネル設定	管理者パスワード		
1 お掃除自動設定	自動清掃の有効/休止を設定します。	A	
2 清掃時間帯設定	自動清掃を開始する時間帯を設定します。	A	
3 清掃間隔設定	自動清掃する最小の間隔を設定します。	A	
4 ダスト回収設定	ダストの回収時期を設定します。	A	
5 ブラシ清掃回数設定	プランの清掃回数を設定します。	A	
9.フィルターサインリセット			
1 フィルターサイン解除	フィルターサインの解除を行います。	A	○
2 次回清掃日の設定	次回清掃日の設定を行います。	A	
10.初期設定			
1 時刻設定	現在の日付・時刻を設定および修正を行います。 ●80時間以内の停電の場合、バックアップ電源により時計は動き続けます。	A	△
2 時刻表示設定	時刻表示のあり/なし、12H/24H、AM/PM位置、を設定します。	A	
3 サマータイム補正	現在時刻に対し、+1時間の補正を行います。	A	
4 コントラスト調整	液晶の濃度の調整を行います。	A	
5 バックライト	バックライトの有効/無効、点灯時間を設定します。	A	
6 ブザー音	タッチパネル操作時のブザー音のあり/なしを設定します。		
11.タイマー設定			
1 時間入タイマー	停止後、運転させたい時間を設定します。 ●1～12時間の範囲を1時間単位で設定可能です。 ●運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
2 時間切タイマー	運転後、停止させたい時間を設定します。 ●1～12時間の範囲を1時間単位で設定可能です。	A	△
3 時刻入タイマー	運転開始時刻を設定します。 ●設定時刻は5分単位で設定可能です。 ●1回のみ/毎日の切換が可能です。 ●運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
4 時刻切タイマー	運転停止時刻を設定します。 ●設定時刻は5分単位で設定可能です。 ●1回のみ/毎日の切換が可能です。	A	△
5 タイマー設定内容確認	各タイマー設定内容を一覧できます。	A	
12.ウィークリータイマー設定			
1 ウィークリータイマー 管理者パスワード	1週間の入タイマーまたは切タイマーを設定します。 ●1日最大8パターンまで設定可能です。 ●設定時刻は5分単位で設定可能です。 ●休日設定により、無効設定も可能です。 ●運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△ △ △
13.るす番運転			
1 るす番運転	お部屋を留守にする時、お部屋が高温/低温にならないように温度を保ちます。 ●外温と制御温度により冷房/暖房を行います。 ●設定温度、風量の設定が可能です。	A	

◆組合せ室内・室外ユニットの仕様により、本内容が機能しない場合もあります。